

P-2-6 生物分野研究支援における産業用 X 線 CT 装置有効活用に関する考察

Thursday, 7 March 2024 16:10 (40 minutes)

産業用 X 線 CT 装置は国内外のメーカーから様々な機種が販売されており、工業分野だけでなく生物分野を研究する大学や研究機関においても設置されるようになってきた。国立遺伝学研究所においても 2005 年に初代 X 線 CT 装置が設置され約 18 年間運用してきた。当研究所では大腸菌からイネ、マウス、ヒトに至る様々な生物を対象に遺伝学に関する研究が進められている。その一方で、メーカーからリリースされる X 線 CT 装置の仕様は様々で、1 台の装置ですべての生物材料のニーズに応えることは不可能である。また成果がでなければ装置の維持も難しい。工学物理系の知識に弱い発表者が X 線 CT 装置を使用して生物分野の研究支援をするなかで経験した問題点を考察する。

Presenter: 哲輝, 前野 (情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 フェノタイプ研究推進センター)

Session Classification: ポスター発表